

最初の 縄文人は 洞窟に？

— 黒姫洞窟遺跡でわかってきたこと —

黒姫洞窟遺跡では、縄文時代の始まり頃に魚沼市域で暮らしていた最初の縄文人について調査してきました。

これまでの調査から、彼らが洞窟で石器を作り、食べ物を土器で煮ていたことが分かっています。

本展示では、この時代（縄文時代草創期）の出土品や研究成果を紹介し、その歴史的意義をわかりやすく解説します。

2026.

7.25(土) — 9.6(日)

魚沼市歴史資料館

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入館料：大人 200 円（20 名以上の団体 150 円） 高校生：100 円 中学生以下：無 料

お問い合わせ

魚沼市教育委員会事務局生涯学習課文化財係

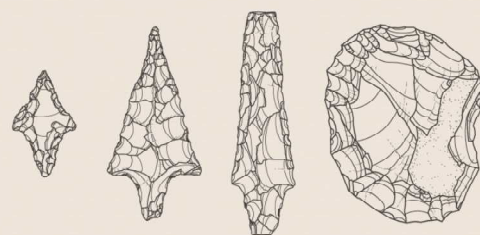
新潟県魚沼市今泉 1488 番地 1（広神会館 3 階） 電話：025-795-5015 FAX：025-799-2710 mail：syogaigakusyu@city.uonuma.lg.jp





黒姫洞窟遺跡とは？——

黒姫洞窟遺跡は、新潟県と福島県の県境近くの山中にある遺跡です。
ここでは約1万4千年前の縄文時代草創期の土器片や、それに伴う
たき火と石器製作の痕跡が見つっています。



主な展示資料：黒姫洞窟遺跡（魚沼市）、干溝遺跡（十日町市）、屋敷田 III 遺跡（津南町）など



関連企画

ギャラリートーク

① 7月25日（土） 11:00～12:00

② 9月6日（日） 11:00～12:00

会場：魚沼市歴史資料館



講演会「新潟県の縄文時代の始まり」

8月1日（土） 13:30～15:00

講師：橋詰 潤 氏（新潟県立歴史博物館）

会場：広神コミュニティセンター3階講堂



アクセス

